

学校名 秩父市立吉田小学校
所在地 埼玉県秩父市下吉田 3 8 3 3
電話 0 4 9 4 - 7 7 - 0 0 1 4

1 本校の概要

吉田小学校は、年間を通した読み聞かせ活動や図書室利用の活性化を図る取組、さらに読書月間の取組など、児童が本に触れる機会を増やすとともに、自ら進んで読書しようとする態度や習慣を身に付けることができるよう取組を継続している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

ア 読書の楽しさや喜びを味わわせる読み聞かせ活動

- ・ 地域ボランティアによる読み聞かせ会(毎月)
- ・ 教員による読み聞かせ会や高学年児童による読み聞かせ会(読書月間)

イ 読書活動への意欲的な態度を育成する取組

- ・ 図書委員会児童による自主的な読書活動啓発の取組
- ・ 全学級で読書の木の取組
- ・ 児童が本に触れる機会を増やすための図書室利用活性化を図る取組

(2) 実践の概要

ア 各学級での取組

図書委員会が模造紙で作成した「読書の木」に、各学級で読書カードを貼っていく。「読書の木」の出席番号に自分のカードを重ねて貼っていく。

イ 読み聞かせ会(読書月間)

- ・ 他学年の教員による「読み聞かせ」を行う。
 - ・ 担任以外の教員による「読み聞かせ」を行う。
- 例えば、1年生に6年生の担任が読み聞かせを行う。普段接していない教員の読み聞かせに、児童の興味関心が高まる取組である。



他学年の教員による「読み聞かせ」

ウ 高学年児童が低学年児童へ「読み聞かせ」

- ・ 6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生でペアを作り、高学年の児童が読み聞かせを行う。
- ・ 読み手の高学年児童は、相手に分かりやすく読んであげることが意識すると共に、高学年としての自覚を高めることができる。
- ・ 聞き手の低学年児童は、読んでもらえる期待に意欲が高まると共に、高学年になったときに読み手になれるという憧れを持つことができる。「読み聞かせ」を通して異学年児童がふれ合い、読書への関心を高める取組である。



高学年児童による読み聞かせ

エ 児童集会で図書委員会による「読み聞かせ」

5・6年生の図書委員児童が、オンラインを活用して全学級に向けて絵本の読み聞かせを行う。読み聞かせの後には、吉田小学校図書室に関するクイズを出題する。図書室で行っているイベントの紹介もあり、読書活動及び図書室利用に向けて関心が高まる取組である。



オンライン読み聞かせ

3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書好きな児童が増加し、昨年度一人あたりの年間貸出冊数は51冊を記録した。

(2) 課題

家庭で読書習慣が形成できるよう啓発を図る。

(3) おわりに

児童が「読書が好き」という気持ちを継続できるよう、読書習慣の定着と読書環境の整備を推進していく必要がある。